

今回紹介する植物は、初夏から秋にかけて美しい姿で楽しませてくれる『ムラサキシキブ』という落葉低木です。

紫色をした実の清楚で美しい印象から、平安時代の美女『紫式部』に例えたとされています。その美しさから、観賞用として栽培される方も多いそうです。また、実をびっしりとつけることから、『紫重実・紫敷き実（むらさきしきみ）』と呼ばれていたものが、いつしか紫式部を連想させてこの名になったという説もあります。



花言葉は『上品』で、名の由来からしてもピッタリですね。

木の幹は、真っ直ぐで堅く強いので、道具の柄や、杖、箆などに使われ、日本人には昔から親しまれていた樹木です。



6～7月に淡紫色の花を多数開き、10～11月に球形の実が紫色に熟し、落葉後も実が残ります。県民の森では、希樹園にて観察することが出来ますので、是非花も実も見てください。

みつけた!

園内にて植物を撮影していた時の事。葉っぱの影に隠れていたハルゼミを発見! 鳴かずにジッとしている



姿はかくれんぼをしているようでした。夏が来る前にセミの種類と鳴き声を覚えて、森で探してみてください。

種類	時期	鳴き声
ハルゼミ	4月末～6月	ギーギー
ニイニゼミ	7月上旬～8月	チージー・ニー
ヒグラシ	7月上旬～9月中旬	カナカナカナ
アブラゼミ	7月上旬～9月上旬	ジージージー
クマゼミ	7月上旬～9月上旬	ジーシャンシャン
ミンミンゼミ	7月上旬～9月上旬	ミンミンミン
ツクツクボウシ	8月上旬～9月中旬	ツクツクポーシ×2

県民の森 行事案内

◆木工教室 テーブル

定員 10名



平成30年7月8日(日)

9時00分～15時30分

参加費: 10,000円(着色料別途1,000円)

集合場所: 県民の森 木材工芸センター

持ち物: 昼食・飲み物 など

*作業しやすい服装でお越しください。

◆知って得する チェーンソー講習会

定員 15名



※チェーンソー操作の経験がある方対象(玉切りなど)

平成30年7月8日(日)・22日(日)

9時30分～15時00分

参加費: 1,500円(各日)

集合場所: 県民の森 フォレストアイ

持ち物: 昼食・軍手・タオル など

内容: 広葉樹の伐木・立木の伐採 など

岩手県森林公園

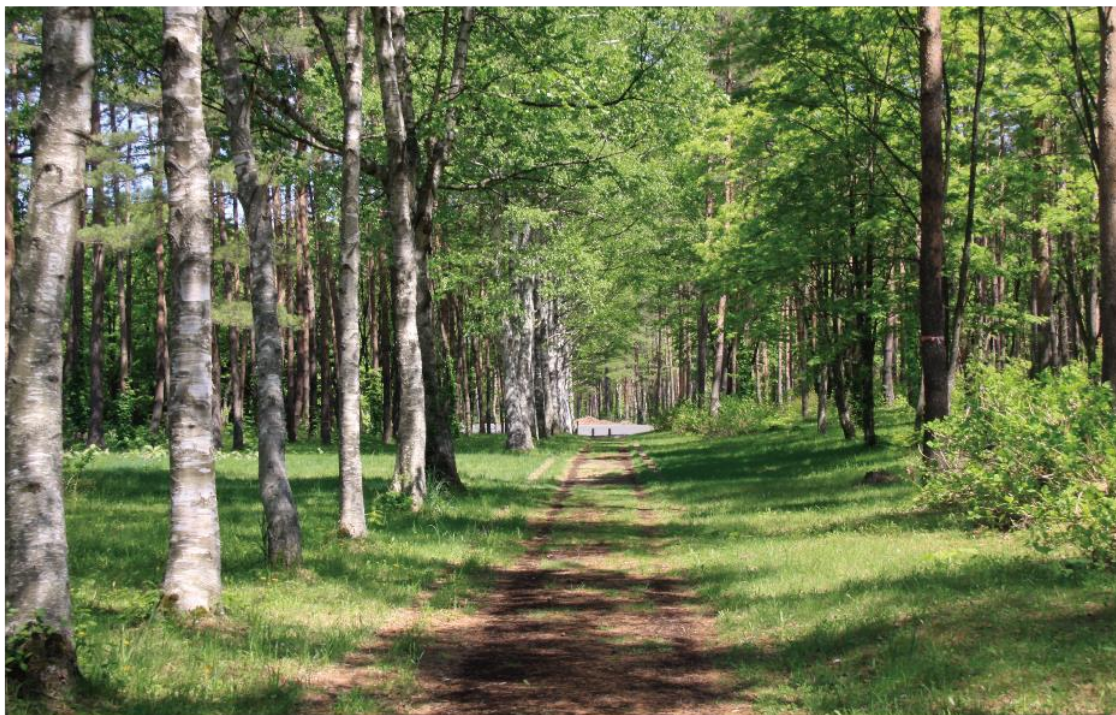
県民の森だより

2018.

6

Vol.149

発行 岩手県県民の森
(公益社団法人
岩手県緑化推進委員会)



鳥

やハルゼミの鳴き声で県民の森は大変にぎやかです。夏が近づくにつれて、木はたくさんの葉を付け木陰(こかげ)を作り、散策している方が一息つく場所を与えてくれます。木の間を駆け抜ける涼しい風と、木が揺れサワサワと音を立てる新緑の葉っぱがとても爽やかで気持ちがいいです。段々と、山開きの時期になってきました。安全・安心に山登りを楽しめるよう、今一度入山する上での注意点を確かめるのも良いと思います。

岩手県県民の森 管理事務所

〒028-7302

岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5

TEL. 0195-78-2092 FAX. 0195-71-1778

岩手県県民の森 検索

県民の森 行事より

5月20日
開催

県民の森 野鳥観察会

雲一つない快晴の中、県民の森に生息する野鳥を観察する会が行われました。出発する前から鳥たちの元気な鳴き声が聴こえてくるので、参加者は期待を込めて出発しました。

初めは、まだ活発に飛んではいなかった鳥達でしたが、後半になってくると活動時間になったのか、元気に飛びまわる様子が見られました。



5月26日・27日 知って得する チェーンソー講習会【初心者】

チェーンソーを正しく安全に使うために講師の方に学ぶ講習会が行われました。今年度は、それぞれのレベルに合った内容で受講してもらおうと、初心者・初級者・中級者で日程を分けました。今回は初めてチェーンソーを扱う初心者の方が集まり、注意点や基本姿勢など、主に基礎を身につけてもらいました。



森で遊び！ 自然で学ぶ！

自然の中には、新しい発見や学べる事が沢山あります。外で作って食べるご飯はどんな味？夜の森の中にはどんな虫たちがいるの？見て・触って・体験して、この夏一番の思い出を作り出さよう！

参加費：大人 1,000円 / 子供 800円
定員：20名（要予約）
持ち物：20ペットボトル・レジャーシート・軍手・金たわし
1人2合お米・カレー用皿・箸・スプーン
タオル・懐中電灯 など

服装：野外で活動しますので、虫対策等万全の服装
※当イベントは、親子や子供連れに関わらず、ご夫婦やお一人での参加も大歓迎です！

7月7日(土)
14:30~20:30

～主な内容～
・野外炊事
・夜の虫探索会
・カンテラ作り
・ヒメボタル観察会
(予定)

▼昨年度の様子



楽しく森を
散策しよう！

グマってどんな動物？

かわいいクマ、大きいクマ、こわいクマ・・・



登山やハイキングを楽しみたい方が増える時期。それと共に、やはり心配なのは熊との遭遇です。熊はとて能力の高い動物で、小さな音でも聞き分ける聴力と、犬のようにわずかなニオイを嗅ぎ分ける嗅覚をもっています。安全に山を楽しむために、熊との正しい対応の仕方をここで覚えておきましょう。



クマは何を食べる？

○食べる物の9割以上は植物！季節によって種類は様々！

- 春 → 芽吹いたブナの葉や様々な植物
- 夏 → アリやハチなどの昆虫
- 秋 → ドングリなどの木の果



クマに自分の存在を知らせるために、「クマ鈴」や「ラジオ」など音が出る物を準備するの◎。



もしクマに会ってしまったら…？

注意していても、出会うときはあります。そんな時、次のように行動しましょう。

- 遠くにクマがいた
落ち着いて、その場を離れましょう。クマが驚いてしまうので、大声を出したり、走って逃げるのはやめましょう。また、写真を撮ろうとフラッシュを使うのも×。
- 近くにクマがいた
こちらも同様に、ゆっくりとその場から離れます。その際クマに背は向けず、クマを見ながら、ゆっくりと落ち着いて後退します。
- すぐ近くにクマがいた
慌てた人の急な動作に驚いて、攻撃してくるかもしれないので、冷静にクマが立ち去ってからその場を離れましょう。突発的に襲われたときは、両腕で顔や頭をガードし、大ケガを避けましょう。



森にとって大切な存在

恐ろしい存在かもしれないクマですが、クマが食べた植物の種をフンとして出すことで、植物の繁殖を助けるなど、クマは生態系を支える役目を果たしています。なので、クマがいる森は他の多くの動物も生息できる大事な地域なのです。人間とクマが上手に共存できるようになるのが1番ですね。

県民の森を散策したいけど、1人じゃ怖い！

そんな方にはコチラの行事がオススメです！

夏の自然観察会

6月30日(土) 10:00~12:00
参加費：300円
定員：20名(要予約)
持ち物：飲み物・歩きやすい靴
帽子・タオル など



県民の森園内をガイドと一緒にゆっくり散策します。

登山に自信のない方などが気軽に楽しめますよ！

